６.データメンテ

目次

６－１　物件データの一括削除・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１
６－２　顧客データの一括削除・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２
６－３　業者データの一括削除・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３
６－４　データベースの最適化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ４
６－５　画像有無・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ４
６－６　データベースのバックアップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ５
６－７　データベースの呼び出し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ５
６－８　スケジュールの削除・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ５
６－９　棟データ削除・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ６
６－１０　送信履歴削除・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ６
６－１１　メールの退避・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ７
６－１２　メールの削除・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ７
６－１３　登録物件の一括編集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ８
６－１４　登録顧客の一括編集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１１
６－１５　登録業者の一括編集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１２



図 6-1.1：データメンテ画面

◆◆◆概要◆◆◆

不要となった物件データ、顧客データの削除、データベースの最適化、保存、呼び出し、スケジュールの削除、画像登録日の更新、メールの削除や、売約済、HP 公開、確認日等のデーター括編集が行えます。

6－1　【 物件データの一括削除 】

対象の物件情報を完全に削除します。画像データ等の付随するデータも削除されます。
今後一切扱わない物件として判断できる場合のみ実行してください。

※ 削除した物件データ、画像データ等は復元する事ができません。
（別途バックアップが存在する場合は可能です）

例として、中央線、武蔵境駅の物件を完全に削除する場合の手順を説明します。

① 図 6-1.1 のタブメニューから「物件情報」を選択します。物件リストが表示されます。
② 「物件検索」ボタンをクリックし、検索画面に移動します。
③ 沿線のリストから「中央線」を選択し、駅のリストから「武蔵境駅」を選択し、「検索」をクリックします(図 6-1.2)。
④ 検索結果が 16 件と表示されました。この状態で右上の「閉じる」をクリックし、データメンテ画面に戻ると、リストが検索結果と同じ状態になっています(図 6-1.3)。
⑤ リストの「選択」欄をクリックし、個別に選択(■)するか、又は「全選択」をクリックし、全ての物件データを選択状態に設定します。
⑥ 削除設定ができたら「削除実行」ボタンをクリックすると、パスワード入力画面が表示されます。入力したパスワードが正しい場合、物件データ及び画像データ等の削除を開始します。

※ パスワードは環境設定で設定したパスワードです。

以上で特定駅(地区)の一括削除は終了です。

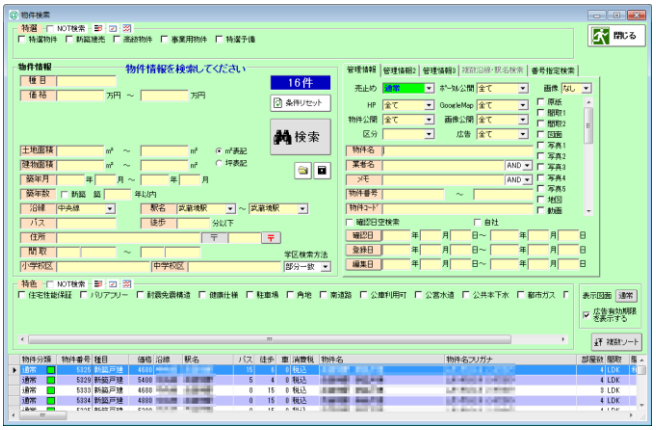


図 6-1.2：特定駅検索画面例



図 6-1.3：データメンテ画面物件検索後

６－２　【 顧客データの一括削除 】

対象の顧客データを完全に削除します。

※ 削除した顧客データは復元することができません。（別途バックアップが存在する場合は可能）

例として、ランクがＦ以下の顧客を完全に削除する場合の手順を説明します。

① 図 6-1.1 のタブメニューから「顧客情報」を選択します。リストが顧客リストに変わります。

② 「顧客検索」ボタンをクリックし、検索画面に移動します。

③ ランクのリストから「Ｆ」を選択し、「検索」をクリックします（図 6-2.1）。

④ 検索結果が 18 人と表示されました。この状態で右上の「閉じる」をクリックし、データメンテ画面に戻ると、リストが検索結果と同じ状態になっています（図 6-2.2）。

⑤ リストの「選択」欄をクリックし、個別に選択（■）するか、又は「全選択」をクリックし、全ての顧客データを選択状態に設定します。

⑥ 削除設定ができたら「削除実行」ボタンをクリックすると、パスワード入力画面が表示されます。入力したパスワードが正しい場合、顧客データの削除を開始します。

以上でランクＦ以下の顧客の一括削除は終了です。

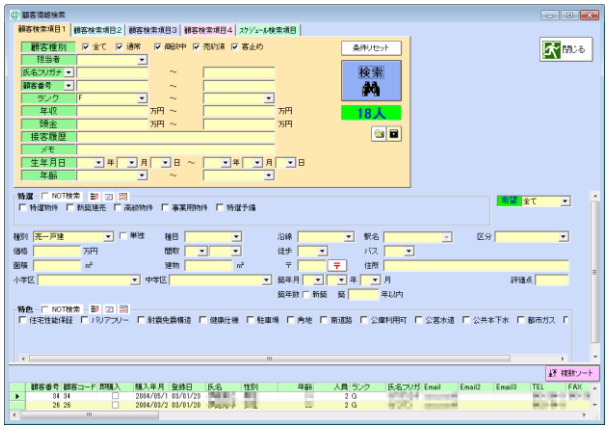


図 6-2.1：ランクＦ検索画面例

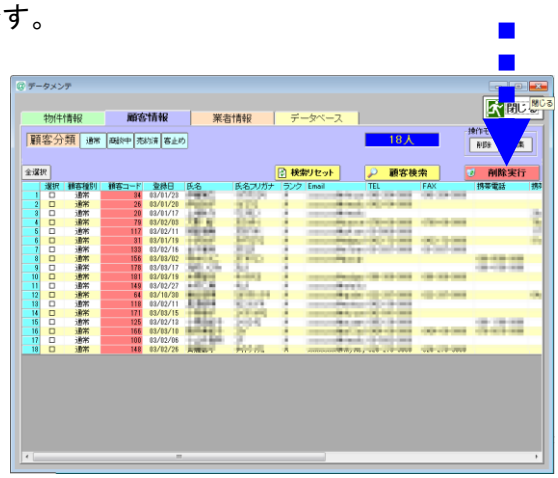


図 6-2.2：データメンテ画面顧客検索後

６－３　【 業者データー括削除】

対象の業者データを完全に削除します。

※ 削除した業者データは復元することができません。（別途バックアップが存在する場合は可能）

例として、ランクがＦ以下の業者を完全に削除する場合の手順を説明します。

① 図 6-1.1 のタブメニューから業者情報を選択します。リストが業者リストに変わります。

② 「業者検索」ボタンをクリックし、検索画面に移動します。

③ ランクのリストから「Ｆ」を選択し、「検索」をクリックします（図 6-3.1）。

④ 検索結果が 5 社と表示されました。この状態で右上の「閉じる」をクリックし、データメンテ画面に戻ると、リストが検索結果と同じ状態になっています（図 6-3.2）。

⑤ リストの「選択」欄をクリックし、個別に選択(■)するか、又は「全選択」をクリックし、全ての業者データを選択状態に設定します。

⑥ 削除設定ができたら「削除実行」ボタンをクリックすると、パスワード入力画面が表示されます。入力したパスワードが正しい場合、業者データの削除を開始します。

以上でランクＦ以下の業者の一括削除は終了です。



図 6-3.1：ランクＦ検索画面例

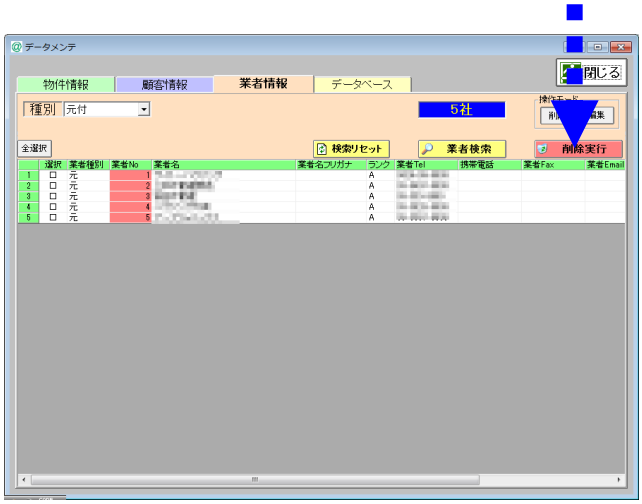


図 6-3.2：データメンテ画面業者検索後

６－４　【 データベースの最適化 】

@dream ではローカルデータベースを使用しています。物件、顧客情報の登録、削除を日々繰り返しているとデータベース内には無駄な領域が徐々に増えていきます。そのまま使い続けると、@dream 自体の動作速度低下等の原因にもなりますので、定期的にメンテナンスが必要です。

そこでデータメンテ画面では、データベースのメンテナンス「最適化」ができるようになっていますので、定期的(可能ならば一週間前後)に行うようにしてください。

タブメニューの「データベース」をクリックするとデータベースの最適化、バックアップ等が行える画面が表示されます(図 6-4.1 参照)。「最適化」をクリックするとデータベースの最適化を開始します。

※ サブのパソコン等で@dream を起動している場合は必ず終了してから行ってください。

同時に仮のバックアップデータ

（C:Program Files (x86)¥RingAndLink¥@dreamprogre¥B9¥B_db¥backup_B9ProDB.mdb）も作成します。

※ 仮ですのでパソコン自体が壊れてしまった場合等のバックアップにはなりません。



図 6-4.1：データベース最適化、バックアップ画面

６－５　【 画像有無 】

物件検索では画像が登録されていない物件を検索することが出来ます。但し、@dream で画像登録していれば問題ありませんが、@dream からではなく Windows 上(エクスプローラ等)で削除、追加をしてしまった場合は、検索が正しく行われない状態になってしまいます。

その様な場合に『画像最適化』を行ってください。図 6-4.1 の「画像有無」をクリックすると物件データに登録されている画像の有無を一括で最適化し、画像有無検索での問題は解消されます。

６－６　【 データベースのバックアップ 】

@dream のデータベースのみのバックアップデータを作成するには図 6-4.1 の「保存」をクリックしてください。ネットワーク内のパソコンまたは外付けのハードディスク、光ディスク、フラッシュメモリ等に保存するのが安全です。保存先を指定して「OK」をクリックするとバックアップデータとしてコピーされます。

しかし、これだけでは**間取、写真データのバックアップはされません。**@dream フォルダ全体をコピーしておくことで全てのデータがバックアップとして利用できます。

@dream 売買版フォルダ

『インストールディスクとドライブ(C:)¥Program Files (x86)¥RingAndLink¥@dreamprogre¥B9』

※ パソコンが故障してしまった場合等に、バックアップがないと@dream を元の状態に復元することができません。定期的にフォルダ全体のバックアップを行ってください。

６－７　【 データベースの呼び出し 】

何らかの理由でデータに不都合が生じた場合等に、以前保存した状態に復元します。

現在のデータベースに直接上書を行います。

※ 現在のデータは全て失われます。特別な理由が無い限り呼び出しは行わないでください。

６－８　【 スケジュールの削除 】

不要になったスケジュールを削除することができます。図 6-4.1 の「スケジュール削除」をクリックすると以下の図 6-8.1 の画面が表示されます。

図 6-8.1 の画面からスケジュールを削除したい日付を選択し、実行ボタンをクリックすると@dream からスケジュールデータが削除されます。

※ 削除を行ったデータは復元することができませんので、ご注意ください。

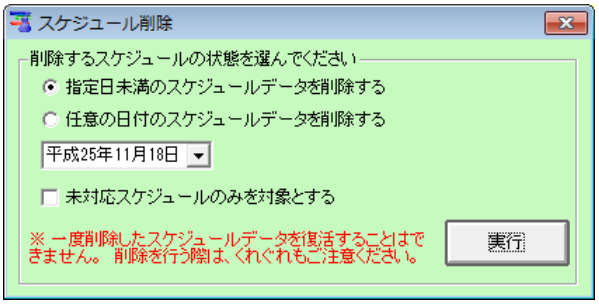


図 6-8.1：スケジュール削除画面

・「指定日未満のスケジュールデータを削除する」・・・コンボボックスに表示された日付未満のスケジュールを削除します。

・「任意の日付のスケジュールデータを削除する」・・・コンボボックスに表示された日付のスケジュールを削除します。

・未対応スケジュールのみを対象とする・・・指定された日付のスケジュールの中でも未対応のスケジュールのみを削除します。

６－９　【 棟データ削除 】

不要になった棟データを削除することが可能です。

図 6-4.1 の「棟データ削除」をクリックすると、図 6-9.1 の画面が表示されます。

図 6-9.1 の画面から削除したい棟データの選択欄にチェックを付け、削除ボタンをクリックすると該当する棟データを削除します。

※ 削除を行ったデータは復元することができませんので、ご注意ください。

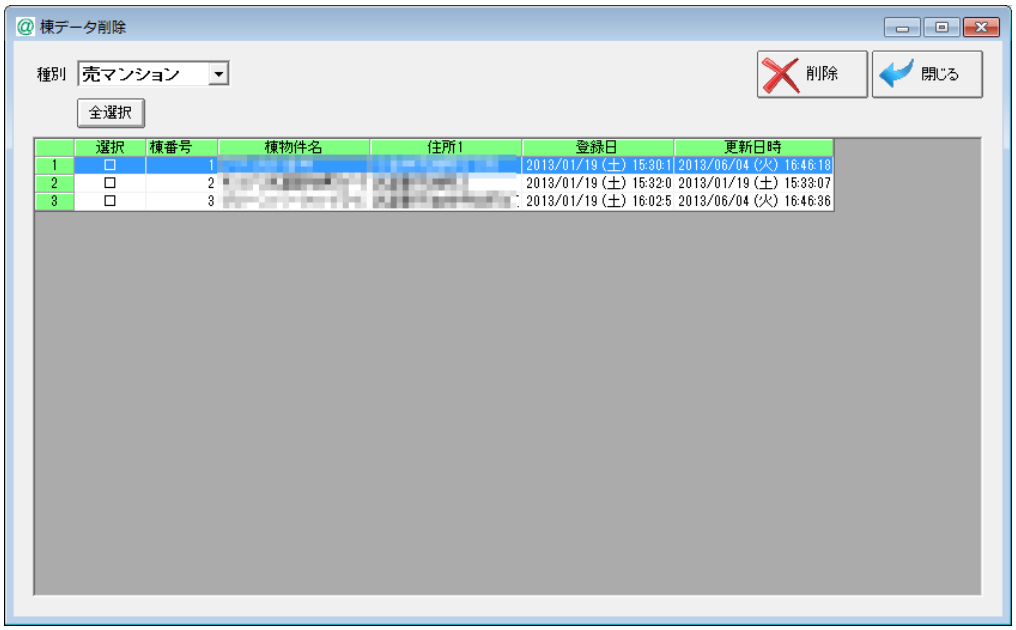


図 6-9.1：棟データ削除画面

６－１０　【 送信履歴削除 】

削除済み物件の送信履歴を削除することが可能です。

図 6-4.1 の「送信履歴削除」をクリックすると、パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックすると、確認メッセージ(図 6-10.1)が表示されます。「OK」ボタンをクリックすると該当するデータを削除します。

※ 削除を行ったデータは復元することができませんので、ご注意ください。

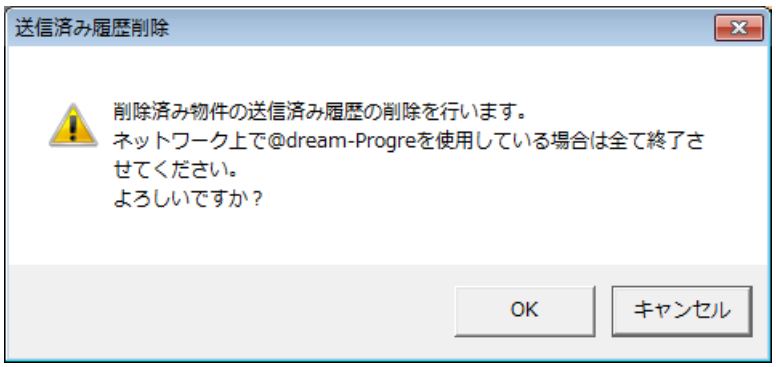


図 6-10.1：確認メッセージ

６－１１　【 メールの退避 】

ドリームメーラーで送受信を行ったメールをデータベースの別の領域に退避します。
不要になった過去のメールなどを退避することにより、速度改善が見込まれます。
図 6-4.1 の「メール退避」をクリックすると以下の図 6-11.1 の画面が表示されます。
図 6-11.1 の画面から日付を選択し、実行ボタンをクリックすると
ドリームメーラーで送受信を行ったメールを**退避**します。
※ 退避を行ったデータはドリームメーラーに表示されなくなります。
退避を行ったデータは元に戻すことはできませんので、ご注意ください。

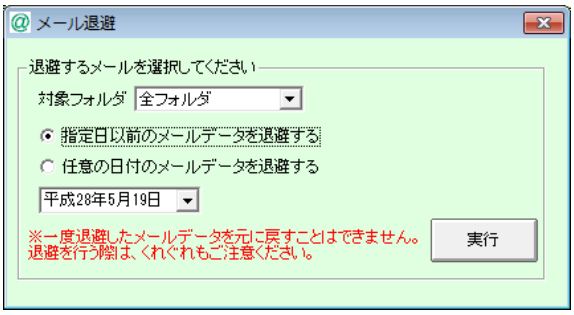


図 6-11.1：メール退避画面

・「指定日以前のメールデータを退避する」・・・コンボボックスに表示された日付以前の
　メールデータを退避します。
・「任意の日付のメールデータを退避する」・・・コンボボックスに表示された日付の
　メールデータを退避します。

６－１２　【 メールの削除】

ドリームメーラーで受信したメールを日付指定で一括削除出来ます。
図 6-4.1 の「メール削除」をクリックすると以下の図 6-12.1 の画面が表示されます。
図 6-12.1 の画面からスケジュールを削除したい日付を選択し、実行ボタンをクリックすると
ドリームメーラーで受信したメールデータを削除します。
※ 削除を行ったデータは復元することができませんので、ご注意ください。

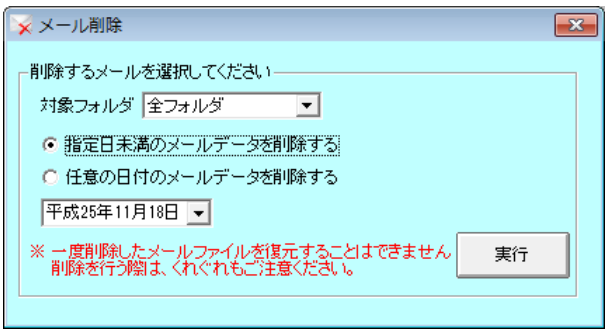


図 6-12.1：メール削除画面

・「指定日未満のメールデータを削除する」・・・コンボボックスに表示された日付未満の
　メールデータを削除します。
・「任意の日付のメールデータを削除する」・・・コンボボックスに表示された日付の
　メールデータを削除します。

６－１３　【 登録物件の一括編集 】

物件情報の一部を一括で編集することが可能です。
図 6-13.1 の 6-13-A の「操作モード」から「編集」をクリックしてください。
一括編集モードに切り替わります。一括編集できる項目は以下になります。

「物件名」「物件名フリガナ」「元付業者名」「客付業者名」「小学校区」「中学校区」
「物件分類」「HP 公開」「種別」「確認日／登録日」「物件公開」「YoutubeID」
「沿線」「駅名」「画像公開」「担当者」「確認予定日」「自社」「区分」
「ポータル公開」「種目」「特選」「特色」「消費税」

例として、確認日を一括で本日の日付にしたい場合、図 6-13.2 の 6-13-C ように確認日の横のチェックボックスにチェックを付けます。これは確認日を一括編集するという設定です。HP 公開、物件分類設定等も編集したい場合はチェックを付けてください。

次に一括で編集する物件を図 6-13.1 の選択欄をクリックして設定してください。
表示されている全ての物件に対して編集設定したい場合は 6-13-D「全選択」をクリックしてください。
設定ができたら 6-13-B「一括編集」ボタンをクリックすると処理が開始され、一括編集されます。

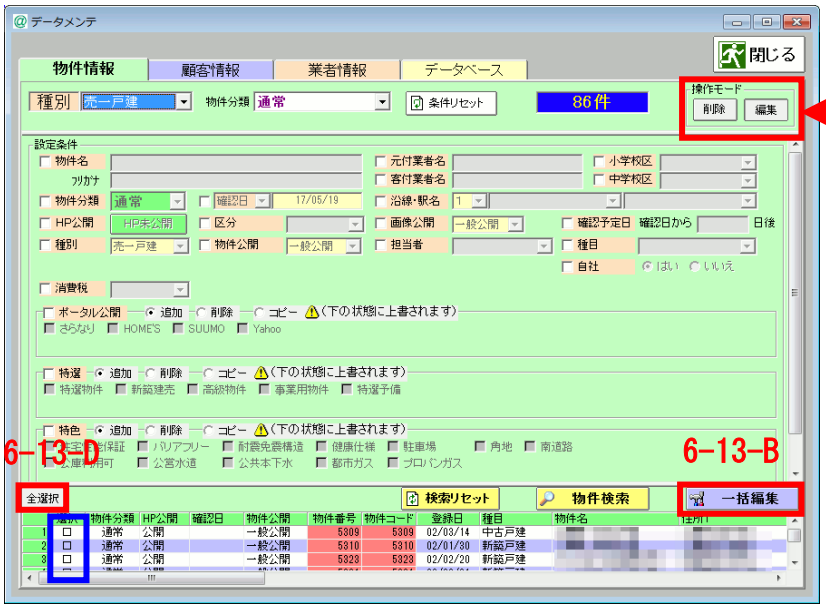


図 6-13.1：データメンテ編集モード

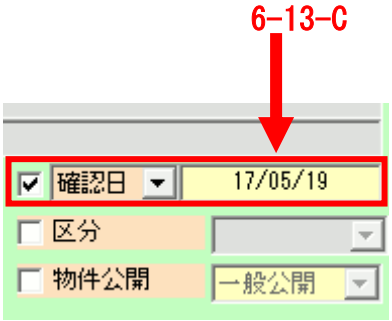


図 6-13.2：確認日一括編集例

■ ポータル公開、特選、特色の一括編集方法 ■

特選の一括編集を例にします。まず 6-13-E にチェックを付けます。

次にチェックの付け方の設定を行います。

・「追加」・・・選択した特選にチェックを付けます。

・「削除」・・・選択した特選にチェックを外します。

※ 追加、削除では選択されていない特選のチェックの状態は変わりません。

・「コピー」・・・表示されている全項目の特選と同じ状態になります。

図 6-13.3 の例では選択した物件の特選を、図 6-13.3 のように「特選物件」「新築建売」にはチェックがつき、その他(高級物件、事業用物件など)の特選はチェックが外れた状態になります。

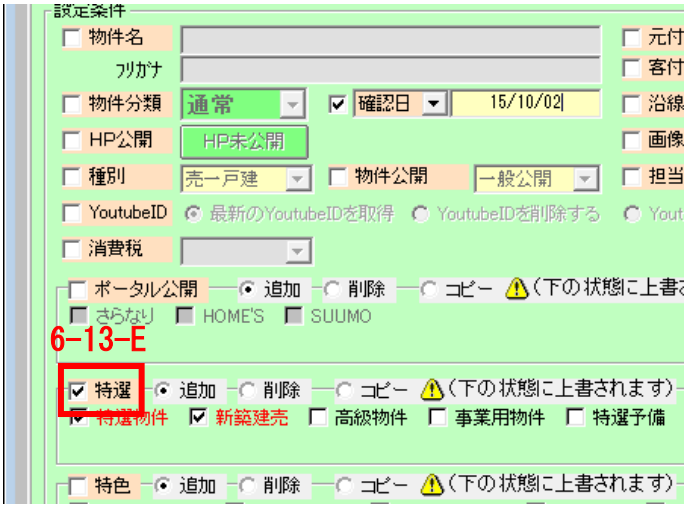


図 6-13.3：特選一括編集例

※ 一括編集を行ったデータは復元することができませんので、ご注意ください。

■ HP 公開の一括編集について ■

HP の公開・非公開の設定を変更する事が出来ます。

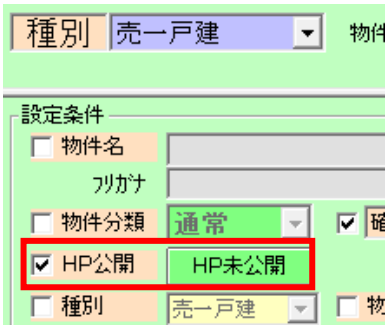


図 6-13.4：HP 未公開

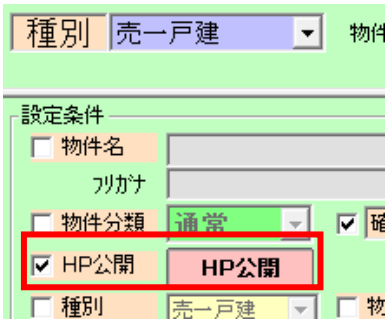


図 6-13.5：HP 公開

HP 未公開(図 6-13.4)

HP 未公開に設定し、一括編集を行うと選択された物件の HP 公開設定が**未公開**に変更されます。

また、**動画を含めた画像情報全ての公開チェックが外れます。**

HP 公開(図 6-13.5)

HP 公開に設定し、一括編集を行うと選択された物件の HP 公開設定が**公開**に変更されます。

また、**動画を含めた画像情報全ての公開チェックが入ります。**

■ 物件公開の一括編集について ■

物件の物件公開を変更する事が出来ます。

・「一般公開」・・・物件を一般公開に設定します。

・「メール公開」・・物件をメール公開に設定します。

・「会員公開」・・・物件を会員公開に設定します。**（※画像公開は会員に設定されます。）**

・「非公開」・・・・物件を非公開に設定します。

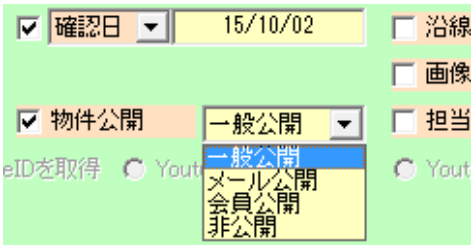


図 6-13.6：物件公開

■ 種別の一括編集について ■

物件の種別を変更する事が出来ます。

※ 種別を変更した場合、以下の項目が初期化されます。

号室、消費税、坪単価、年間収入、現状・予想、利回り、管理費、修繕積立費、駐車場月額、建物面積、土地面積、私道面積、バルコニ面積、方向、都市計画、地目、建ぺい率 1、容積率 1、建ぺい率 2、容積率 2、建築条件、借地期間年、借地期間月、借地期限年、借地期限月、借地料、建築条件、間取番号、部屋数、間取、間取詳細、地上階、地下階、階建、棟総戸数、建物構造、和暦築年月、西暦築年月、管理組合、管理形態、管理人状況、管理会社、接道状況、備考、特選コード、特色コード



図 6-13.7：種別

■ 元付(客付)業者の一括編集 ■

業者マスタに登録されている業者で、物件の業者情報を変更する事が出来ます。

業者のテキストボックスに業者名を入力すると、業者のグリッドが表示され選択する事が出来ます。

業者名が分からない場合は、キーボード矢印キー『↓』を押すと元付業者(元付業者名のテキストボックスで押した場合)がグリッドに表示されます。

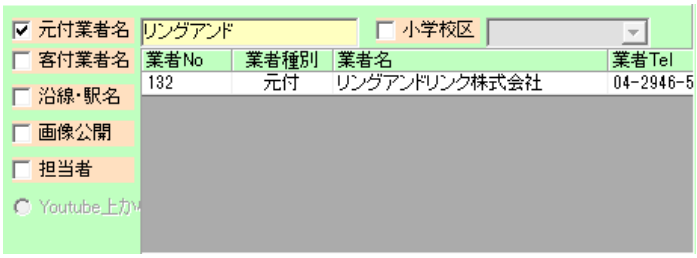


図 6-13.8：業者設定

６－１４　【 登録顧客の一括編集 】

「理由」「職業」等の顧客データや接客管理を一括で編集する事が可能です。
図 6-14.1 の 6-14-A の「操作モード」から「編集」をクリックしてください。
一括編集モードに切り替わります。一括編集できる項目は以下になります。

「理由」「職業」「来店」「ランク」「担当者」「契約」「人員」「案内」「購入」「資産」「接客管理」
※「案内」「購入」「資産」は表示名称がカスタマイズ項目であるため、お客様が顧客カルテ画面にて表示名称を変更している場合、表示名称が異なっている場合がございます。

例として顧客データ「ランク」を一括で「A」ランクに変更したい場合を例にします。図 6-14.2 の 6-14-C のように横のチェックボックスにチェックを付けます。これはランクを一括編集するという設定です。

次に一括で編集する顧客を図 6-14.1 の選択欄をクリックして設定してください。表示されている全ての顧客に対して編集設定したい場合は 6-14-D「全選択」をクリックしてください。設定ができたら 6-14-B「一括編集」ボタンをクリックすると処理が開始され、一括編集されます。

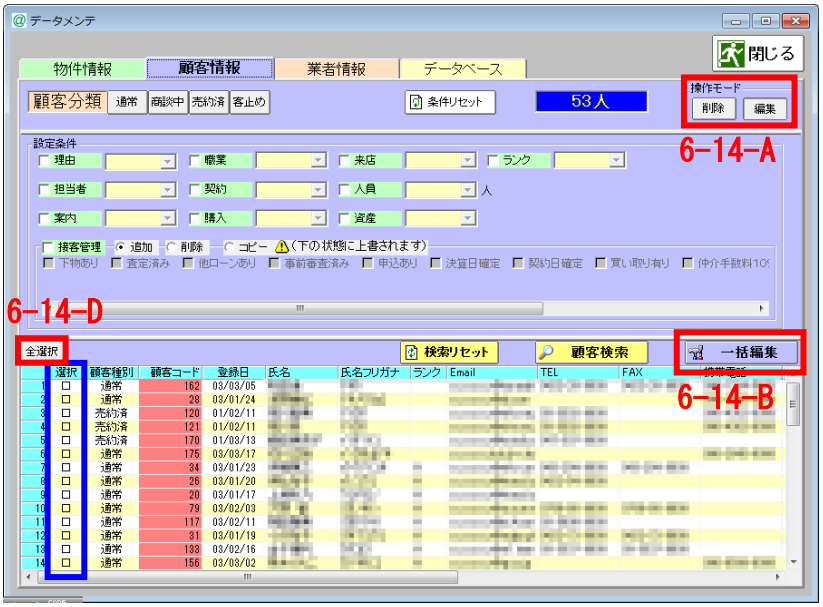


図 6-14.1：データメンテ編集モード

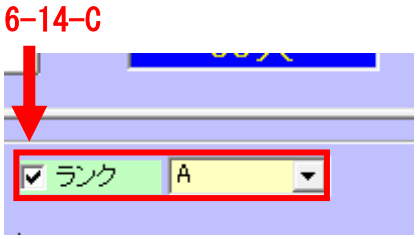


図 6-13.2 ランク一括編集例

■接客管理の一括編集方法■
接客管理の一括編集を例にします。まず 6-14-E にチェックを付けます。
次にチェックの付け方の設定を行います。

・「追加」・・・選択した接客管理にチェックを付けます。
・「削除」・・・選択した接客管理チェックを外します。
※ 追加、削除では選択されていない接客管理のチェック状態は変わりません。
・「コピー」・・・表示されている全項目の接客管理と同じ状態になります。

図 6-14.3 の例では選択した顧客の接客管理を、図 6-14.3 のように「下物あり」「査定済み」にチェックがつき、その他(他ローンありなど)の接客管理はチェックが外れた状態になります。



図 6-14.3：接客管理一括編集例

※ 一括編集を行ったデータは復元することができませんので、ご注意ください。

6－15 【 登録業者の一括編集 】

業者種別を一括で編集する事が可能です。

図 6-15.1 の 6-15-A の「操作モード」から「編集」をクリックしてください。

一括編集モードに切り替わります。一括編集できる項目は以下になります。

「業者種別」

例として元付け業者の種別を一括でオーナーに変更したい場合を例にします。図 6-15.2 の 6-15-C のように横のチェックボックスにチェックを付けます。これは種別を一括編集するという設定です。

次に一括で編集する業者を図 6-15.1 の選択欄をクリックして設定してください。表示されている全ての物件に対して編集設定したい場合は 6-15-D「全選択」をクリックしてください。

設定ができたら 6-15-B「一括編集」ボタンをクリックすると処理が開始され、一括編集されます。

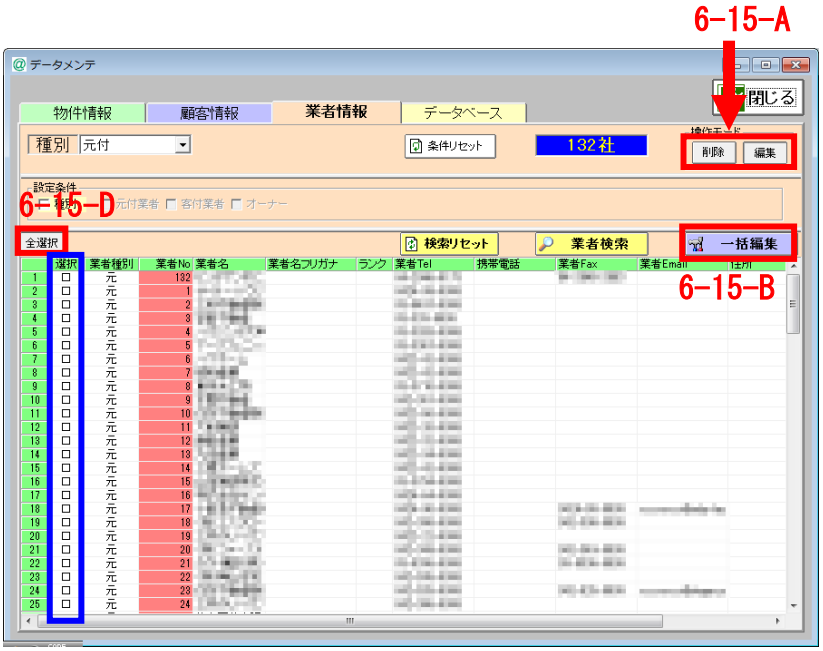


図 6-15.1：データメンテ編集モード

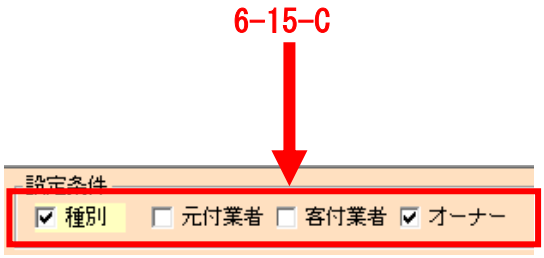


図 6-15.2：種別一括編集例

@dream-Progre 売買版

第６章 データメンテ

取扱説明書

２０１６年　１月１８日　　第１版第１刷発行
２０１６年　１月１８日　　第１版第１刷発行
２０１７年　６月１８日　　第５版第１刷発行

発行者　金丸　信一
発行所　リングアンドリンク株式会社
ソフト事業部　　ＴＥＬ：０１２０－４６５－１４６
ＦＡＸ：０４－２９４６－２６６３
Ｅ－Ｍａｉｌ：dream-progre@ring-and-link.co.jp
〒３５９－００２７　　埼玉県所沢市松郷１５１－５１

ⓒ ２０１７　Ring and Link Corporation

本書の一部または全部を著作権法の定める範囲を超え、無断で複写、複製、
転載、テープ化、ファイル化することを禁じます。